



「市町村民経済計算」からみた県内各市町村経済の現状

地方行政の効率化などを目的に推進された「平成の大合併」が全国的に一段落してから、まもなく10年が経過する。県内では69市町村あった自治体が25市町村に再編され、市町村の枠組みが大きく変わる中、先頃公表された「平成28年度秋田県市町村民経済計算年報」の推計結果と、本県の合併が終了した17年度の翌18年度の推計結果を比較しながら、この間、県内各市町村の経済規模や産業構造、所得水準がどのように変化したかを、計数に基づき概観する。

1 市町村民経済計算とは

市町村民経済計算は、国のGDP統計である「国民経済計算」や県の「県民経済計算」の市町村版にあたり、県内市町村の経済全体を見渡すことができる唯一のマクロ統計である。即ち、各市町村を単位として、財やサービスなどの生産活動によって一定期間に新たに生み出された「付加価値（＝総生産）」を、「生産」と「分配（所得）」の両面から推計したものである（ここでいう付加価値とは、具体的には、生産された財やサービスの産出額から原材料や部品代などの中間投入額を差し引いたもの）。推計にあたっては、県民経済計算の県値を用いて各市町村の水準を示す各種統計指標から案分して算出する。

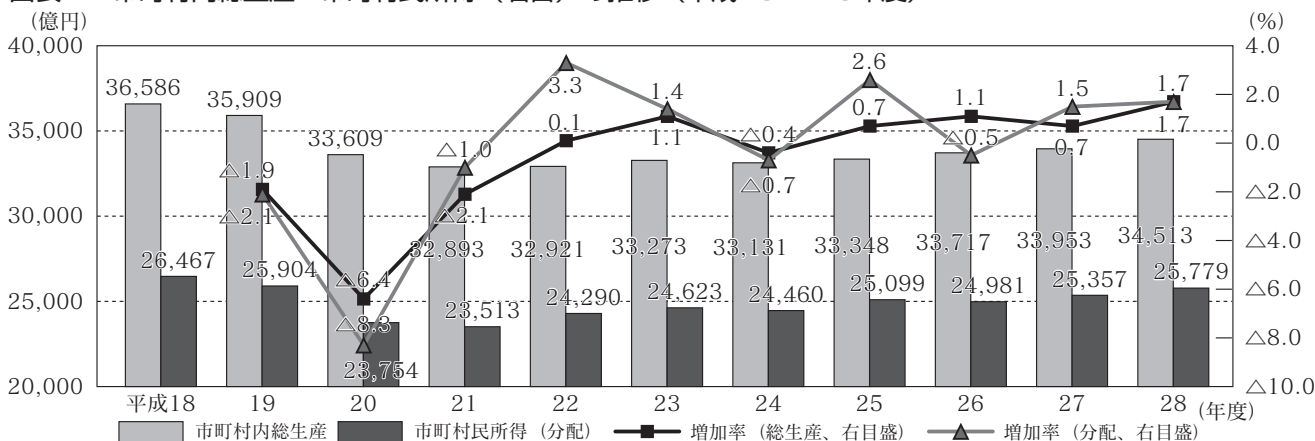
この統計からは、県内各市町村の経済規模や産業構造、所得水準など、市町村においてどのような産業がどの程度の付加価値を生み出しているか（市町村内総生産）、生み出された付加価値が生産活動に参加した個人や企業の所得としてどのように配分されているか（市町村民所得）を、数値等で客観的に把握することができる。

ただし、公表時期は推計に用いる基礎資料の制約等もあり、対象年度終了後の概ね2年を経過した時期となる。

2 市町村内総生産および市町村民所得の推移

平成18年度から28年度における県全体の市町村内総生産および市町村民所得の実額と増加率の推移をグラフで表したものが図表1である。

図表1 市町村内総生産・市町村民所得（名目）の推移（平成18～28年度）



資料：秋田県「平成28年度秋田県市町村民経済計算年報」以下、図表同じ

19年度まではいずれも比較的堅調に推移していたが、20年秋に発生したリーマン・ショックを境に、プラス・マイナスの振幅が大きくなっている。18年度に3兆6,586億円あった総生産は20年度には3兆3,609億円と、約3千億円（おおよそ横手市1市の規模に相当）をも失う結果となった。その後、22年度は、こうした急激な経済悪化からの回復途上にあつて、総生産、所得ともにプラス成長となり、それ以降、東日本大震災や、本県の製造業をリードする電子部品大手企業グループによる生産拠点再編に伴うショック等があつたものの、引き続き緩やかな回復基調を辿っている。

3 市町村内総生産の概況

市町村別の経済規模を示す市町村内総生産の平成28、18の両年度について、人口規模の状況とともにまとめたものが図表2である。

(1) 総生産の規模

28年度の総生産額で上位市町村の状況を見ると、秋田市が1兆2,463億円（18年度1兆

2,758億円）と県全体（3兆4,513億円）の約3分の1を占め、秋田市への一極集中が顕著に表れている状況に変化はない。以下、横手市、大館市、由利本荘市、大仙市、能代市の5市が2千億円台で続いており、これら上位6市で県全体の73.4%（18年度70.9%）のシェアを占めている。この中で特に注目すべきは大館市と能代市が18年度に比べ増加していることで、両市とも製造業が主な成長要因となっている。

(2) 人口規模との比較

28年度の総生産額を人口規模と比較してみると、総生産額のシェアは18年度同様、概ね人口規模に近いものとなっているが、秋田市が36.1%（18年度34.9%）と人口シェア31.1%を5.0ポイント上回っている。また、能代市が1.3ポイント上回っているほか、電子部品・デバイス関連の製造業が集積するにかほ市が0.8ポイント上回っているのが目立っている。

人口1人当たりの総生産額では、大潟村が6,492千円（18年度5,707千円）で最も高く、

図表2 市町村別総生産規模の概況（平成28年度）

順位	市町村名	総生産額（百万円、%）			人口（人、%）			1人当たり総生産額（千円）		
		実数	シェア	H28/H18増減	実数	シェア	順位	実数	対県平均	
1	秋田市	1,246,321	36.1	△2.3	1	313,668	31.1	5	3,973	116.2
2	横手市	291,811	8.5	△3.2	2	90,888	9.0	7	3,211	93.9
3	大館市	266,991	7.7	11.0	5	73,230	7.3	6	3,646	106.7
4	由利本荘市	252,265	7.3	△9.5	4	78,905	7.8	8	3,197	93.5
5	大仙市	247,251	7.2	△13.4	3	81,616	8.1	10	3,029	88.6
6	能代市	226,923	6.6	7.3	6	53,841	5.3	4	4,215	123.3
7	湯沢市	132,659	3.8	△13.4	7	45,651	4.5	11	2,906	85.0
8	にかほ市	115,272	3.3	△38.2	13	24,860	2.5	3	4,637	135.6
9	北秋田市	101,762	2.9	△8.0	9	32,594	3.2	9	3,122	91.3
10	鹿角市	89,405	2.6	△7.8	10	31,437	3.1	12	2,844	83.2
11	潟上市	80,438	2.3	3.8	8	32,809	3.2	19	2,452	71.7
12	仙北市	75,665	2.2	△12.5	12	26,993	2.7	13	2,803	82.0
13	男鹿市	73,598	2.1	△8.4	11	27,806	2.8	14	2,647	77.4
14	美郷町	43,008	1.2	△6.5	14	19,926	2.0	24	2,158	63.1
15	三種町	36,868	1.1	△10.4	15	16,714	1.7	23	2,206	64.5
16	羽後町	36,275	1.1	5.9	16	14,995	1.5	20	2,419	70.8
17	小坂町	29,175	0.8	△22.1	20	5,214	0.5	2	5,596	163.7
18	五城目町	24,151	0.7	△5.7	17	9,269	0.9	17	2,606	76.2
19	大潟村	19,969	0.6	8.7	23	3,076	0.3	1	6,492	189.9
20	八峰町	17,897	0.5	△3.9	18	7,142	0.7	18	2,506	73.3
21	井川町	12,873	0.4	△23.3	21	4,887	0.5	15	2,634	77.1
22	八郎潟町	11,409	0.3	△18.6	19	5,979	0.6	25	1,908	55.8
23	藤里町	7,349	0.2	△12.8	22	3,323	0.3	22	2,212	64.7
24	東成瀬村	6,725	0.2	△3.6	24	2,580	0.3	16	2,607	76.3
25	上小阿仁村	5,275	0.2	△15.1	25	2,302	0.2	21	2,291	67.0
	県計	3,451,335	100.0	△5.7		1,009,806	100.0		3,418	100.0

(注) 1 計数は端数処理しているため、各市町村の計や各項目の計が一致しない場合がある 2 人口の県計は、総務省「推計人口」、各市町村は秋田県「秋田県年齢別人口流動調査」による 3 対県平均（県平均=100） 4 以下、図表3、4同じ

図表2 市町村別総生産規模の概況（平成18年度）

順位	市町村名	総生産額（百万円、%）			人口（人、%）			1人当たり総生産額（千円）	
		実数	シェア	順位	実数	シェア	順位	実数	対県平均
1	秋田市	1,275,836	34.9	1	331,834	29.3	4	3,845	119.1
2	横手市	301,314	8.2	2	102,548	9.0	9	2,938	91.1
3	大仙市	285,428	7.8	3	92,295	8.1	7	3,093	95.8
4	由利本荘市	278,696	7.6	4	88,594	7.8	6	3,146	97.5
5	大館市	240,448	6.6	5	81,714	7.2	8	2,943	91.2
6	能代市	211,562	5.8	6	62,287	5.5	5	3,397	105.3
7	にかほ市	186,531	5.1	13	28,699	2.5	1	6,500	201.4
8	湯沢市	153,138	4.2	7	54,489	4.8	11	2,810	87.1
9	北秋田市	110,556	3.0	8	39,441	3.5	12	2,803	86.9
10	鹿角市	96,977	2.7	9	36,160	3.2	14	2,682	83.1
11	仙北市	86,450	2.4	12	31,423	2.8	13	2,751	85.3
12	男鹿市	80,320	2.2	11	34,968	3.1	15	2,297	71.2
13	潟上市	77,496	2.1	10	35,560	3.1	18	2,179	67.5
14	美郷町	45,994	1.3	14	22,760	2.0	22	2,021	62.6
15	三種町	41,170	1.1	15	20,046	1.8	21	2,054	63.6
16	小坂町	37,446	1.0	20	6,670	0.6	3	5,614	174.0
17	羽後町	34,252	0.9	16	17,912	1.6	25	1,912	59.3
18	五城目町	25,618	0.7	17	11,418	1.0	17	2,244	69.5
19	八峰町	18,627	0.5	18	8,824	0.8	19	2,111	65.4
20	大潟村	18,364	0.5	23	3,218	0.3	2	5,707	176.8
21	井川町	16,773	0.5	21	5,802	0.5	10	2,891	89.6
22	八郎潟町	14,024	0.4	19	6,996	0.6	23	2,005	62.1
23	藤里町	8,430	0.2	22	4,242	0.4	24	1,987	61.6
24	東成瀬村	6,978	0.2	24	3,110	0.3	16	2,244	69.5
25	上小阿仁村	6,215	0.2	25	3,023	0.3	20	2,056	63.7
	県計	3,658,643	100.0		1,133,794	100.0		3,227	100.0

次いで小坂町5,596千円(同5,614千円)、にかほ市が4,637千円(同6,500千円)となっている。18年度に比べ上位5市町村の順位に変動はあるものの、顔ぶれは変わっていない。

4 市町村別総生産の主な経済活動別の概況

県全体の経済活動別市町村内総生産を平成28年度と18年度を比較してみると、米の取引価格の低下による農業の不振に加え、総生産のうち構成割合が比較的高い製造業がリーマン・ショックに伴う世界的な需要縮小の影響を受け、大きく落ち込んでいる。主な経済活動別に各市町村の状況をまとめたものが図表3である。

(1) 農業

28年度のシェアは横手市が14.8%(18年度15.7%)で最も高く、次いで大仙市が11.6%(同12.7%)、大潟村が6.4%(同6.6%)となっている。横手、大仙の両市を除けば、上位市町村間にそれほど大きな開きはない。この中で、小坂町が18年度に比べ1.4ポイント上昇した一方、鹿角市が1.3ポイント下げているのが目立つ。

図表3 市町村別総生産の主な経済活動別内訳(平成28年度)

市町村別総生産の主な経済活動別内訳(平成28年度)									
(単位:百万円、%)									
順位	農 業			製 造 業			卸 売・小 売 業		
	市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア
1	横手市	14,647	14.8	秋田市	115,526	22.2	秋田市	174,427	48.5
2	大仙市	11,494	11.6	にかほ市	60,516	11.6	横手市	34,412	9.6
3	大潟村	6,305	6.4	大館市	60,333	11.6	大館市	29,659	8.2
4	大館市	5,984	6.1	横手市	53,890	10.4	大仙市	23,602	6.6
5	由利本荘市	5,980	6.1	由利本荘市	48,822	9.4	由利本荘市	18,620	5.2
6	秋田市	5,820	5.9	能代市	38,349	7.4	能代市	16,940	4.7
7	能代市	5,559	5.6	大仙市	30,446	5.9	湯沢市	10,053	2.8
8	羽後町	4,546	4.6	湯沢市	24,212	4.7	北秋田市	6,965	1.9
9	三種町	4,360	4.4	潟上市	16,733	3.2	鹿角市	6,905	1.9
10	北秋田市	4,201	4.3	小坂町	11,817	2.3	男鹿市	5,553	1.5
11	仙北市	4,069	4.1	北秋田市	10,745	2.1	潟上市	5,308	1.5
12	湯沢市	4,057	4.1	鹿角市	10,267	2.0	にかほ市	5,010	1.4
13	美郷町	3,793	3.8	仙北市	6,678	1.3	仙北市	4,533	1.3
14	小坂町	3,268	3.3	羽後町	6,125	1.2	美郷町	4,187	1.2
15	鹿角市	3,255	3.3	男鹿市	5,321	1.0	大潟村	2,460	0.7
16	男鹿市	2,549	2.6	美郷町	4,884	0.9	三種町	2,237	0.6
17	潟上市	1,916	1.9	井川町	3,385	0.7	五城目町	2,051	0.6
18	にかほ市	1,476	1.5	五城目町	3,368	0.6	井川町	1,956	0.5
19	八峰町	1,254	1.3	三種町	3,079	0.6	羽後町	1,794	0.5
20	五城目町	1,155	1.2	大潟村	3,060	0.6	八峰町	1,100	0.3
21	井川町	1,026	1.0	八峰町	1,511	0.3	八郎潟町	681	0.2
22	八郎潟町	580	0.6	八郎潟町	837	0.2	小坂町	621	0.2
23	東成瀬村	558	0.6	上小阿仁村	175	0.0	藤里町	236	0.1
24	上小阿仁村	448	0.5	藤里町	165	0.0	上小阿仁村	214	0.1
25	藤里町	390	0.4	東成瀬村	118	0.0	東成瀬村	147	0.0
	県 計	98,690	100.0	県 計	520,362	100.0	県 計	359,671	100.0

(2) 製造業

28年度のシェアは秋田市が22.2%(18年度20.9%)、にかほ市が11.6%(同21.6%)、大館市が11.6%(同5.6%)、横手市が10.4%(同9.5%)、由利本荘市が9.4%(同9.3%)と、上位5市町で県全体の65.2%を占めている。このうち、大館市が医療用器具・医薬品製剤関連の集積により18年度に比べ6.0ポイント上昇したほか、能代市も医薬品製剤の大型工場の立地などにより同4.1ポイント上昇し、急激にシェアを高めている。この間、県内製造業の総生産が13.7%減少している中で、にかほ市のシェアが10.0ポイント低下しており、主力の電子部品・デバイス的大幅な落ち込みが影響している。

(3) 卸売・小売業

28年度のシェアは秋田市が48.5%と18年度(50.8%)に比べややシェアを落としたものの、県全体の半分近いシェアを占め、突出して高い状況に変わりはない。以下、横手市が9.6%(同9.0%)、大館市が8.2%(同7.4%)と続いてお

市町村別総生産の主な経済活動別内訳(平成18年度)

市町村別総生産の主な経済活動別内訳(平成18年度)									
(単位:百万円、%)									
順位	農 業			製 造 業			卸 売・小 売 業		
	市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア	市町村名	総生産額	シェア
1	横手市	16,622	15.7	にかほ市	130,432	21.6	秋田市	188,128	50.8
2	大仙市	13,367	12.7	秋田市	126,076	20.9	横手市	33,148	9.0
3	大潟村	6,938	6.6	横手市	56,985	9.5	大館市	27,420	7.4
4	大館市	6,909	6.5	由利本荘市	56,217	9.3	大仙市	23,678	6.4
5	由利本荘市	6,493	6.1	大仙市	49,687	8.2	由利本荘市	18,640	5.0
6	能代市	5,563	5.3	大館市	33,783	5.6	能代市	18,373	5.0
7	秋田市	5,124	4.8	湯沢市	32,593	5.4	湯沢市	10,648	2.9
8	鹿角市	4,894	4.6	能代市	19,623	3.3	鹿角市	6,705	1.8
9	三種町	4,837	4.6	潟上市	17,157	2.8	にかほ市	6,442	1.7
10	湯沢市	4,811	4.6	小坂町	16,322	2.7	北秋田市	6,029	1.6
11	北秋田市	4,314	4.1	北秋田市	13,348	2.2	男鹿市	5,469	1.5
12	仙北市	4,108	3.9	鹿角市	9,107	1.5	仙北市	5,324	1.4
13	美郷町	3,973	3.8	美郷町	7,125	1.2	美郷町	3,771	1.0
14	羽後町	3,686	3.5	仙北市	6,713	1.1	潟上市	3,701	1.0
15	潟上市	3,065	2.9	井川町	6,608	1.1	大潟村	3,138	0.8
16	男鹿市	2,572	2.4	羽後町	5,077	0.8	三種町	1,966	0.5
17	小坂町	1,974	1.9	男鹿市	4,882	0.8	五城目町	1,848	0.5
18	にかほ市	1,688	1.6	五城目町	4,480	0.7	羽後町	1,582	0.4
19	八峰町	1,169	1.1	三種町	3,321	0.6	井川町	1,504	0.4
20	五城目町	929	0.9	八峰町	1,372	0.2	八郎潟町	789	0.2
21	井川町	923	0.9	八郎潟町	901	0.1	八峰町	772	0.2
22	八郎潟町	578	0.5	上小阿仁村	602	0.1	小坂町	608	0.2
23	藤里町	524	0.5	藤里町	307	0.1	藤里町	288	0.1
24	上小阿仁村	346	0.3	東成瀬村	116	0.0	上小阿仁村	214	0.1
25	東成瀬村	251	0.2	大潟村	104	0.0	東成瀬村	139	0.0
	県 計	105,658	100.0	県 計	602,938	100.0	県 計	370,324	100.0

図表4 市町村民所得の概況（平成28年度）

順位	市町村名	市町村民所得 (百万円)				市町村名	1人当たり市町村民所得	
		所得	雇用者報酬	財産所得	企業所得		実額(千円)	対県平均
1	秋田市	940,225	601,644	42,091	296,490	大潟村	3,640	142.6
2	横手市	215,677	129,592	10,623	75,462	秋田市	2,998	117.4
3	大仙市	193,942	119,372	9,574	64,996	にかほ市	2,886	113.0
4	由利本荘市	192,714	119,205	9,275	64,234	小坂町	2,849	111.6
5	大館市	187,609	111,487	9,002	67,120	能代市	2,587	101.3
6	能代市	139,264	76,856	6,158	56,250	大館市	2,562	100.4
7	湯沢市	99,757	60,509	4,938	34,310	由利本荘市	2,442	95.7
8	潟上市	74,642	49,128	3,870	21,644	大仙市	2,376	93.1
9	にかほ市	71,744	40,133	3,227	28,384	横手市	2,373	93.0
10	北秋田市	71,393	42,321	3,307	25,765	潟上市	2,275	89.1
11	鹿角市	69,628	42,010	3,551	24,067	井川町	2,226	87.2
12	男鹿市	58,284	35,580	2,758	19,946	鹿角市	2,215	86.8
13	仙北市	57,201	33,859	2,823	20,519	北秋田市	2,190	85.8
14	美郷町	41,484	26,484	2,393	12,607	湯沢市	2,185	85.6
15	三種町	34,697	20,784	1,976	11,937	五城目町	2,131	83.5
16	羽後町	31,452	19,259	1,708	10,485	仙北市	2,119	83.0
17	五城目町	19,755	12,082	954	6,719	八郎潟町	2,109	82.6
18	小坂町	14,856	7,047	605	7,204	羽後町	2,097	82.2
19	八峰町	14,176	8,516	711	4,949	男鹿市	2,096	82.1
20	八郎潟町	12,608	8,304	768	3,536	美郷町	2,082	81.6
21	大潟村	11,196	5,165	448	5,583	三種町	2,076	81.3
22	井川町	10,878	6,750	593	3,535	八峰町	1,985	77.8
23	藤里町	5,725	3,527	255	1,943	東成瀬村	1,936	75.8
24	東成瀬村	4,995	3,090	226	1,679	上小阿仁村	1,738	68.1
25	上小阿仁村	4,001	2,376	191	1,434	藤里町	1,723	67.5
	県計	2,577,903	1,585,080	122,025	870,798	県計	2,553	100.0

市町村民所得の概況（平成18年度）

順位	市町村名	市町村民所得 (百万円)				市町村名	1人当たり市町村民所得	
		所得	雇用者報酬	財産所得	企業所得		実額(千円)	対県平均
1	秋田市	935,588	609,893	38,707	286,988	にかほ市	3,239	138.8
2	横手市	216,822	135,609	10,678	70,535	秋田市	2,819	120.8
3	由利本荘市	207,957	132,094	9,934	65,929	大潟村	2,798	119.9
4	大仙市	202,850	126,992	9,414	66,444	小坂町	2,490	106.7
5	大館市	179,096	111,203	9,169	58,724	由利本荘市	2,347	100.6
6	能代市	140,721	83,903	6,495	50,323	能代市	2,259	96.8
7	湯沢市	107,591	66,124	5,325	36,142	大仙市	2,198	94.2
8	にかほ市	92,957	47,510	3,952	41,495	大館市	2,192	93.9
9	北秋田市	78,094	48,910	3,697	25,487	横手市	2,114	90.6
10	潟上市	73,595	49,463	4,034	20,098	潟上市	2,070	88.7
11	鹿角市	71,322	43,814	3,747	23,761	井川町	2,040	87.4
12	男鹿市	64,788	41,301	3,242	20,245	八郎潟町	2,038	87.3
13	仙北市	59,891	36,249	3,001	20,641	北秋田市	1,980	84.8
14	美郷町	41,964	27,888	2,409	11,667	湯沢市	1,975	84.6
15	三種町	35,680	22,378	2,104	11,198	鹿角市	1,972	84.5
16	羽後町	31,055	20,279	1,885	8,891	五城目町	1,960	84.0
17	五城目町	22,380	14,482	1,184	6,714	仙北市	1,906	81.6
18	小坂町	16,610	8,179	696	7,735	男鹿市	1,853	79.4
19	八峰町	15,821	10,035	874	4,912	美郷町	1,844	79.0
20	八郎潟町	14,256	9,534	840	3,882	八峰町	1,793	76.8
21	井川町	11,838	7,339	639	3,860	三種町	1,780	76.2
22	大潟村	9,004	5,554	373	3,077	羽後町	1,734	74.3
23	藤里町	6,601	4,163	349	2,089	東成瀬村	1,686	72.2
24	東成瀬村	5,242	3,282	284	1,676	上小阿仁村	1,633	70.0
25	上小阿仁村	4,937	3,236	223	1,478	藤里町	1,556	66.7
	県計	2,646,660	1,669,414	123,255	853,991	県計	2,334	100.0

り、農業や製造業に比べ市部の順位に変動は少ない。

5 市町村民所得の概況

ここまでは総生産の面から各市町村の現状をみてきたが、新たに生み出された付加価値は、雇用者報酬、財産所得および企業所得として分配される。労働力を提供した人に対して分配されるのが賃金（雇用者報酬）であり、他に地代、利子などの財産所得と、企業利潤である企業所得からなるのが市町村民所得である。

図表4はこの市町村民所得の状況をまとめたものである。平成28年度の所得の高い市町村をみると、やはり秋田市が9,402億円（18年度9,356億円）で最も高く、次いで横手市が2,157億円（同2,168億円）、大仙市が1,939億円（同2,029億円）と市部が上位を占めている。

一方、市町村の所得水準を比較するときによく使われる「1人当たり市町村民所得」では、大潟村が3,640千円（同2,798千円）で最も高く、次いで秋田市2,998千円（同2,819千円）、

にかほ市2,886千円（同3,239千円）の順となっており、この3市村に小坂町2,849千円、能代市2,587千円、大館市2,562千円を含めた6市町村が県平均（2,553千円）を上回っている。

6 まとめ

本県で「平成の大合併」が落ち着いた18年度と直近のデータをもとに、県内各市町村全体の経済規模や産業構造、所得水準などをみてきた。

県都秋田市の県域に占める重みが突出して高いほか、市町村間の経済力格差が鮮明に表れている。小稿はもとより、県内25市町村の順位付けを意図したものではないが、こうした経済力格差が地域によって生活環境に著しい優劣を生じさせ、更には地域社会そのものの存立すら危うくする惧れがある。今後、人口減少や少子高齢化の更なる深刻化が見込まれており、特に小規模自治体では周辺市町村との広域連携が不可欠となってくる。自治体の将来像について、周辺市町村と意思統一を図り、課題に立ち向かう環境を整えることが求められる。（山崎 要）